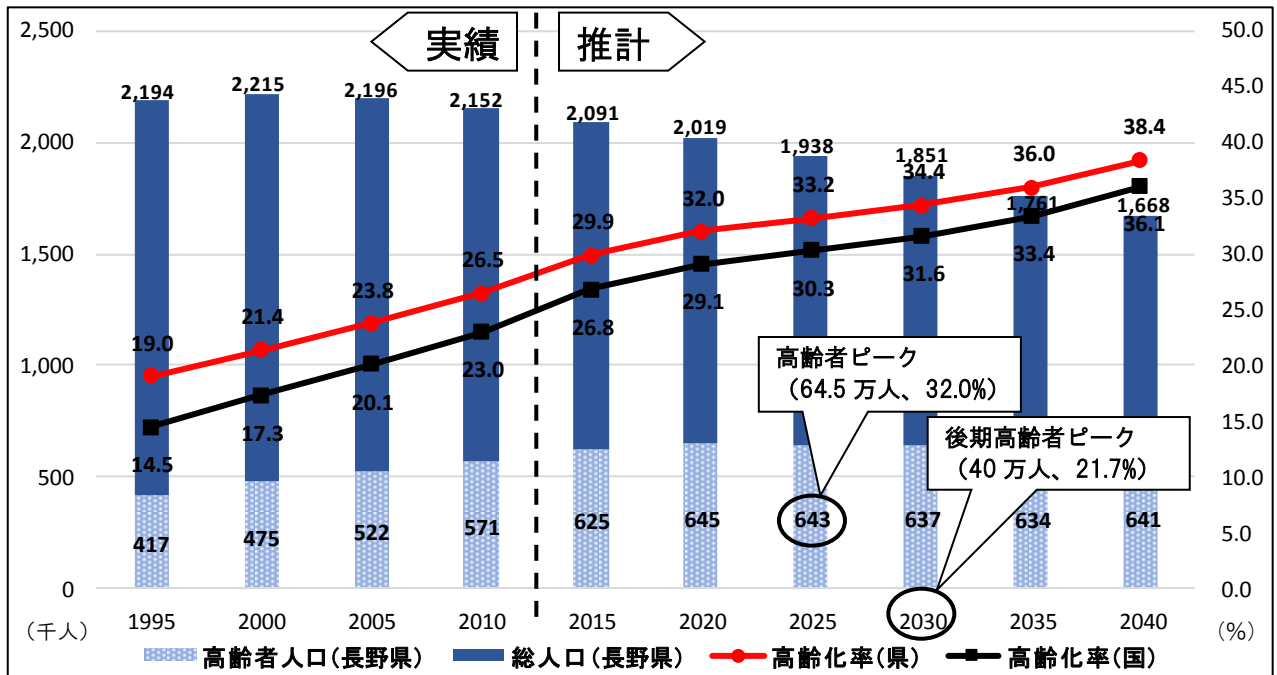


高齢化に伴い増加する疾患(ロコモ、フレイル、肺炎等)

第1 現状(これまでの成果)と課題

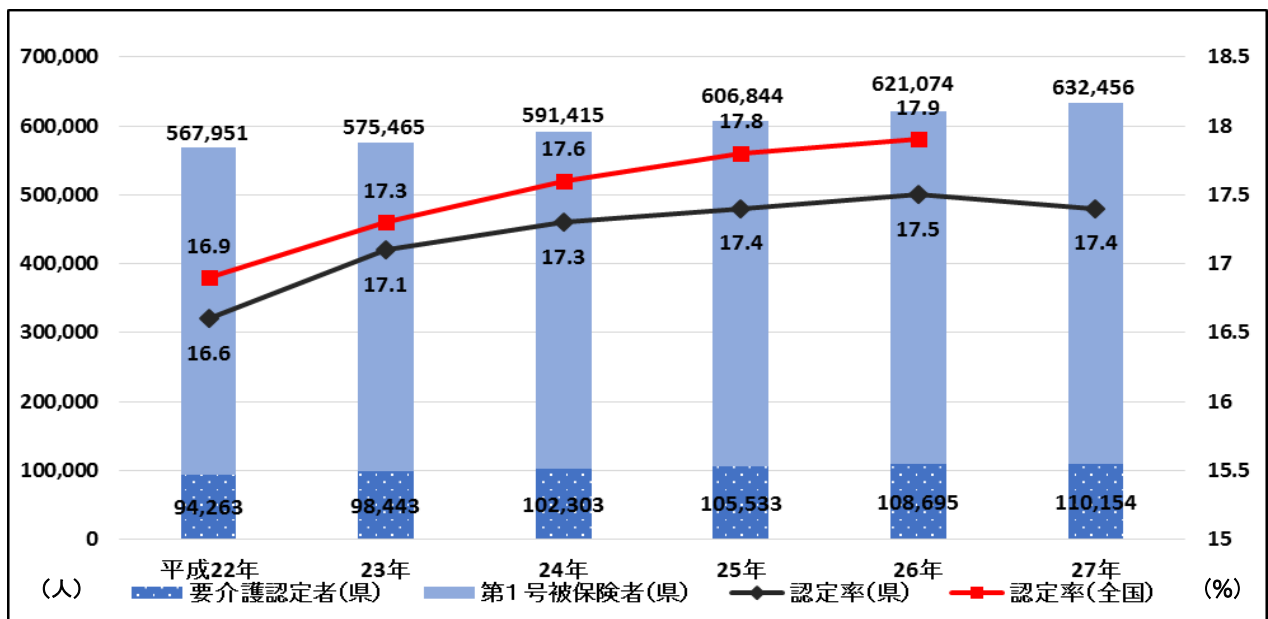
1 高齢化の状況等

【図1】 高齢者人口と高齢化率



(総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)中位推計」)

【図2】 要介護認定の状況



(介護保険事業状況報告 年報)

2 足腰に痛みのある高齢者の割合

【表1】 腰痛及び手足の関節に痛みのある高齢者の割合（千人）

区分		H19	H22	H25
全国	男	280	265	270
	女	398	371	353

（厚生労働省 国民生活基礎調査「症状別有訴者率」）

3 肺炎による死亡者数等

【表2】 肺炎による死亡者数（人）・死亡率（人口10万対）

区分		H23	H27
全国	死亡数	124,652	120,846
	死亡率	98.8	96.4
長野県	死亡数	2,123	1,834
	死亡率	100.4	88.4

（厚生労働省 人口動態統計月報年計（概数）「主な死因の死亡数等」）

（参考）

●ロコモ

運動器症候群：ロコモティブシンドロームの略です。

「運動器の障害」により、「要介護になるリスクの高い状態」になることで、日本整形外科学会が提唱した言葉です。

●フレイル

高齢になることで筋力や精神面が衰える状態を示すもので、英語の frailty の訳として「虚弱」のかわりに日本老年医学会が提唱した言葉です。

高齢化に伴い増加する疾患に関する論点

- 1 どの程度の者が対象（範疇）となるのか把握できていないのが実態。
- 2 県の取組という観点からすると基本的に医療と介護の連携、介護予防の充実・強化という認識でよいか。